



一般質問通告の要旨

ふるさと探究「高校生議会」開催

1 実施目的

- (1) 「ふるさと探究」の調査活動等で得た知見をもとに、自らの意見を行政に対して表明する機会を設け、地域社会の発展に主体的に携わる意識を高める。
- (2) 議会で質問をすることにより、主権者としての政治参加意識を高め、良識ある公民たるに必要な政治的教養を身に付ける。

2 主催

岩手県立山田高等学校

3 日時

令和3年1月19日(火) 10:00～12:00

4 本校からの参加者

3学年49名、校長、引率教員若干名

5 場所

山田町議会議場(山田町庁舎内)

6 議員を務める生徒

議員10名、補佐人10名



趣旨説明

「ふるさと探究」は、本校独自の公民科・学校設定科目です。この科目の目標は、地域社会の課題を発見し、その解決に向けた探究の活動と、地域の人々との対話を通して、郷土の復興に積極的に携わる主体性を養い、自己の将来に向けて必要な深い思考力・判断力を育むこと、と設定しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、授業や調査活動に大きな制約があり、一時は校外での探究活動も危ぶまれる状況となりました。しかしながら、山田町の皆様、地域の方々の温かいご協力を賜り、感染防止対策を徹底しながら、特別授業、校外授業、オランダ島などの町内各所訪問から、地域の現状や課題を学びました。そして、生徒は自ら設定した課題意識をもとに、山田町はもちろん、宮古市や大槌町の各所を訪問し、校外調査を行いました。

今回は、これまでに生徒が得た知見と調査の結果をもとに、山田町に提言や質問をします。生徒が、主権者として政治参加意識を高め、地域の発展に主体的に携わるためには、現実の具体的な政治的事象を扱うことが一層重要性を増していると考えます。生徒が、良識ある公民たるにふさわしい政治的教養を身に付け、自らの意見を行政に届けようとする意思をもち、地域社会の復興と発展に対する自らの意見を表明する機会を実現するため、この「ふるさと探究高校生議会」を実施します。

1 番

質問者：鳥居 亜美

補佐人：甲斐谷 こいき

質問事項

- 1 新しい道の駅の広場について
インターチェンジから程近く、三陸道からも一望できる新しい道の駅について、その地の利を生かした広場の整備計画について伺う。
- 2 新しい道における体験活動について
釣り客が、釣った魚をさばけるような場所を設けるなど、体験活動の場を設けることが集客に有効だと考えるがいかがか。



2 番

質問者：関 口 諒

補佐人：西 村 美 海

質問事項

- 1 オランダ島を拠点としたマリンツーリズム・マリンレジャーについて
(1) オランダ島を拠点とするマリンツーリズム・マリンレジャーの実施状況と利用者数について伺う。
(2) 無人島テストキャンプ実施により出された意見や町が考える今後の課題等について伺う。
- 2 オランダ島での災害発生時の対応について
オランダ島に観光客が上陸している際に災害が発生した場合の対策・対応を伺う。
- 3 観光客誘致について
(1) 水産業と連携し、オランダ島観光の参加者に漁業体験で獲った魚介類を召し上がっていただけるような企画をしてはどうか。
(2) 集魚灯を利用してオランダ島全体をライトアップすることを提案するがいかがか。



3 番

質問者：佐々木 麻 里

補佐人：福 浦 真 穂

質問事項

- 1 子どもの遊び場について
(1) 旧校舎を今後どのように活用していく計画か伺う。
(2) 旧校舎の体育館を、子どもが自由に遊べる空間に利用できないか。
- 2 子ども食堂の開設について
子どもの健康増進や学習支援、居場所づくりにもつながる「子ども食堂」を開設する計画はいかがか。



4 番

質問者：橋 田 隆 輝

補佐人：小 野 堅 斗

質問事項

- 1 交通弱者への支援について
免許返納者や、車がないと生活が難しい地域の住民に対し、タクシーの利用券・割引券を配布してはどうか。
- 2 若年層の公共交通機関の利用促進について
宮古市や釜石市に通学・通勤する若年層へ、公共交通機関の利用を促すようなサービスを展開してはどうか。

5番
質問者：佐々木 未衣菜
補佐人：熊谷 恵利
質問事項

- 1 震災の伝承について
旧大沢小学校で行われていた「海よ光れ」を、東日本大震災をテーマにして、町内の小学校・中学校・高校が一緒に劇を作り上げてはどうか。

6番
質問者：佐藤 摩南
補佐人：佐々木 友花
質問事項

- 1 孤独死の防止について
(1) 孤独死を防ぐための見回り等はどのように取り組まれているか。
(2) 脳卒中の率が高いことが問題であると考えられているが、どのように取り組まれているか。
- 2 地域間交流について
地区ごとや、地域間で、交流を深めるような行事は行われているか。
- 3 運動イベントについて
高校生が高齢者と交流しながら体を動かすようなイベントを町と協働して企画できればと考えるが、実現の可能性はどうか。その他にも、高齢者の健康状態の確認を定期的に行うことで、健康への関心を更に高めていけると考えるがどうか。



7番
質問者：洪梨子 大生
補佐人：鳥居 旭
質問事項

- 1 カキのブランド化について
山田のカキのブランド化、あるいは独自にブランド化しようとする漁業者に対する支援について町の見解を伺う。
- 2 SNSを活用した海産物の宣伝について
SNSを活用した海産物の宣伝について現状を伺う。



8番
質問者：小林 未空
補佐人：中山 那菜歩
質問事項

- 1 地域コミュニティについて
(1) 町全体で交流できる機会を増やすことが、ひいては地域内や災害公営住宅内の交流につながると考えるがいかがか。
(2) 自治会や町内会の役員のなり手不足について、町の状況と対策を伺う。
(3) コミュニティ維持に、外部も含めたさまざまな機関を活用する考えはないか。

9番
質問者：田中 春樹
補佐人：佐々木 駿
質問事項

- 1 保健センターの運動施設について
(1) 保健センターの運動施設は、どのような利用者層が多いか伺う。
(2) 高齢者から若者まで利用しやすい施設にするため、需要のある器具を設置してはどうか。
(3) 専門のトレーナーが、利用者それぞれの体力・運動機能に合わせて運動計画を立てる仕組みがあれば、健康増進に大きな効果があると思うがいかがか。

10番
質問者：佐々木 結花
補佐人：佐々木 優依
質問事項

- 1 求人を増やすための企業支援について
町として、町内の企業が求人を増やせるような企業支援活動があれば伺う。
- 2 資格取得支援について
希望する人が、働きながら資格取得をできるような支援が有効だと考えるがいかがか。
- 3 就職相談について
山田町独自で、就職相談ができるような場を設けてはどうか。

以上が、質問者10名による一般質問通告の要旨となります。それぞれの質問事項に対し、町長様をはじめ、教育長様が真摯に答弁してくれました。さらに、答弁の内容によっては補佐人10名が納得がいくまで再質問をしました。町議会議長様の司会進行により、それらの質問に対しても教育次長様や関係課長様方が答弁してくれました。本来であれば、各答弁の内容を本紙に掲載したいところではありますが、紙面の都合上割愛させていただきます。

生徒所感 3年B組 関口 諒

本日は、私たちのために、このような大変貴重な機会をいただきありがとうございます。ご多用中のところ、町長様はじめ、町議会議長様、教育長様、各課課長様にご出席いただき、私たちの意見を聞いていただける場を設けていただいたこと、大変うれしく思います。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、様々な感染防止対策を講じてこの議会を開催していただいたことに、心より感謝申し上げます。

山田高校独自の科目、ふるさと探究では、山田町役場の職員の方からお話を聞いたり、校外学習として山田町の様子を実際に見たりして、山田町の現状について知る機会を得ました。今回の高校生議会では、これらの探究の結果を踏まえて考えた山田町の観光、福祉、町づくりなどの分野への質問や意見を、私たち自身が議員として議会へ提案するという貴重な経験をすることができました。

私たちは今年3月の卒業後、山田に残る者、町外に出る者と、それぞれの道を歩むこととなります。しかし、今後もそれぞれが、何らかの形で山田町の発展に貢献していくことができばうれしく思います。私自身は、進学先で地域の産業の振興等について学習する予定です。卒業後は山田町へ就職し、町の発展に貢献したいと考えています。

最後になりますが、益々の山田町の発展を願い、議員代表の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

